1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 1 月 23 日発行　SSKU　増刊通巻第 6659 号

NPO 法人わくわくかん
編集　〒115-0044
東京都北区赤羽南 2-6-6
TEL:03-3598-3337

http://www.wakuwakukan.net/

SSKU わくわくかん リボン便り

2020 年 2 月号 No.227

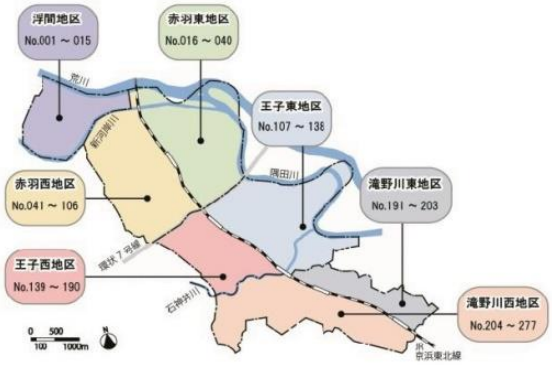
シャケ Zo くん

??なぜリボン??

生まれ変わった
再生したという意味の
（Reborn）。
新しく生まれ変わる
「便り」にしたくて、名付けました。

法人内の職員研修を開催
虐待防止とわくわくかんの展望を議論

NPO 法人わくわくかんの職員研修が 1 月 11 日（土）、午後から赤羽スカイブリッジで行なわれました。前半は「虐待・苦情・差別防止の研修」です。後半は斎藤理事長による「障がい者をめぐる現状とわくわくかんの展望」についての研修でした。（地図は 7 区域からなる北区）



改めて、障害者虐待防止法について学び、虐待に気づくポイント、虐待・差別をなくすために私たちに出来る取り組みを学びました。
続いて斎藤理事長より、福祉サービスの移り変わり、国の現在の動きについてお話がありました。
とくに、わくわくかんが今後取り組むべきテーマについて、今進められている動きとして①「地域共生社会推進検討会」の資料、②居住支援「住宅セーフティーネット制度」と③社会福祉連携法人「社会福祉法人の事業展開に関する検討会」の資料をじっくり読みこなして対応する必要がある。
そのテーマは前号の「りぼん便り」の新年のあいさつで述べたように、「共同」と「連携」で、それを具体化していくことの指摘がありました。この大きなテーマのもと、多世代のニーズに対応できるようにサービスの提供していく組み立てが必要です。
また、自分たちの力で新たな活動を切り開いていくために、これからも研修で学んだ内容を深めていくことを痛感した研修でした。

【研修参加者の感想】

★高齢者と障害者が支え合う枠組みは、福祉業界でも関心が非常に高く興味深い話だった。
こう着状態のわくわくかんの状況を変革していくには、今回の計画のように、これまでの発想にとらわれないドラスティックな変化が必要だと思う。ただ、課題と感じられるものもある。配食サービスやカフェなどは、高齢者との親和性が高く、高齢者への見守り・安心感の提供、当事者のやりがいにつながると思うが、就労支援センターや移行支援は、利用者やスタッフの利便性が求められ、駅から距離がある場所での運営は難しいのではないかという懸念がある。（K.K）

★北区の中でも、課題が深刻であるエリアに焦点を当て、解決に尽力すると同時に、事業が発展していくことは、わくわくかんが取り組むべきことであると思う。
もしコーディネートをお願いすることが可能であるのなら、私も極力携わらせてもらえたら幸いだと思う。（S.F）

★新たな事業としての「地域とつながる居場所や働く場づくり」と「安心して暮らせるグループホームや住宅」は昨年研修でわっぱの会の取組みを見学したため、イメージすることはできた。とはいえ立地の悪い条件、バスでしか行けない場所で、それでも必要性をかんじさせたり「来たい」と思わせるには他の施設の真似では難しいとかんじた。やはり区民のニーズとは何かが気になった。（Y.K）

★「共生が希薄」ということに関しては、私個人としても利用者の方と協力し合えるような関係性を築いていく努力をしていきたいと改めて感じました。今後もこのような機会を通して、視野を広げていきたいです。法人で働く職員が感じている課題についても知ってみたいと思いました。（K.G）

★子育て世代（子供～母親）・高齢者の生活に根付いた集まれる場所を「創る」という事業自体に非常に魅力を感じます。個人的には大曽根と違い、東京は車社会ではないので集まれる人々も限られてしまう気がして、勿体ないと感じる部分があります。

＜わくわくかん 2 月予定表＞

- ✧ 2 月 08 日（土） はたらっくす 16:00～ トライ・ザ・ブルースカイ 17:00～（自立訓練室）
- ✧ 2 月 15 日（土） 反貧困ネットワーク 2020 10:30～ 上智大学四谷キャンパス 2 号館 3F 大教室
- ✧ 2 月 21 日（金） 川崎就学裁判とやまゆり園事件を考える 14:30～ 参議院議員会館 1F 101 会議室
- ✧ 2 月 22 日（土） 東京都精神保健福祉相談事業講演会 13:30～ 都庁第一庁舎大会議室
- ✧ 2 月 22～23 日 第 14 回ワーカーズ・コレクティブ全国会議 in 愛知 ウィルあいち・ウインクあいち
- ✧ 2 月 25 日（火） 家族懇談会 16:00～ （自立訓練室）
- ✧ 2 月 26 日（水） 現場協議会 16:00～ （スカイブリッジ）

1998 年 10 月 9 日　第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 1 月 23 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 6659 号

わくわく配食サービス

就労継続支援 A 型事業
北区赤羽南 2-6-6
TEL：03-3598-0089
FAX：03-3598-0089

白身魚のトマトパン粉焼き

【材料】2 人分
白身魚　2 切れ
ホールトマト　２００ｇ
塩コショウ　各少々
オリーブオイル
バター

●ハーブパン粉
パン粉　1 カップ
パセリ適量
ニンニク一片
粉チーズ　大さじ３

【作り方】
① ハーブパン粉をボウルに作っておく。
② ホールトマトをよくつぶす。
③ 耐熱容器にうすくバターを塗り、ホールトマトを敷く。
④ 白身魚の両面に塩コショウをし、並び入れる。
⑤ 上からたっぷりとハーブパン粉をふりかけ、その上からオリーブオイルをかける。
⑥ 200℃のオーブンで 20 分から 25 分、パン粉に焼き色がつくまで焼く。

冬は白身魚が美味しい季節です。青魚の栄養価の高さばかりが注目されがちですが、今がちょうど旬のまだらは、低脂肪でありながら旨味たっぷりのお魚です。これはグルタミン酸などのアミノ酸が豊富に含まれているからです。消化吸収もよく、高齢者や、胃腸の弱ったときに最適です。選ぶときのポイントは、大きく成長しているものが美味しく、白子の入っている雄のほうが高価ですが、白子目当てでなければ雌を選びましょう。丸ごと一匹購入するときはエラをめくってみて鮮やかな赤いものを選びましょう。切り身の場合はうっすらと透明感が残っているものがお勧めです。

日ごろの「食中毒予防」が役立つ
風邪やインフルエンザの季節に

早いもので、1 月が終了しようとしています。慌ただしい年の始まりですが今年は、いつもより長い年末年始で 7 連休になりました。「休みが長いと生活リズムが崩れるのではないか」という不安な声も聞きました。
確かに、休み中にインフルエンザにかかる方が毎年出るのは不思議でもあり、人が多いところに行くことも普段よりもあり自然なことなのかもしれません。そして、休み中に発症するので配食サービス内で感染が広がることはあまりないのも幸いなことです。
今年は、勤務していて後で発症がわかったのですが日頃からの手洗いの励行があるせいか感染が広がることはありませんでした。しかも、厨房でマスクを必ずするのでとにかく「マスク」という習慣もあることも幸いなところです。

　そんなことを考えていると、配食サービスで日々のために行っているルーティーンな行動や知識が日頃の生活にも役に立つこと改めて思いました。
　今回は少しはそうした配食サービスの「食中毒予防」のために気をつけていることについて、記したいと思います。
１、手洗い…肘まで石鹸をつけて洗い、爪ブラシを使い洗う、みんなが触る蛇口も石鹸で洗う。（指の間などももちろん洗います。）石鹸を洗い流して、ペーパータオルで水けを取り次亜塩素酸を規定分量で薄めた液をスプレーで吹き付けてそのまま乾燥させる。蛇口も同じように、水で流しペーパータオルで拭き次亜塩素酸をスプレーで吹きかけます。手洗いは、厨房の外に出たり顔を触ってしまったりした時も洗います。とにかく、食材に菌をつけないように細心の注意を払っています。
２、マスクは、必ず鼻までつける。鼻が出ていては、マスクの効果はありません。
３、厨房の清掃も、食材が床にも台にもシンク、五徳にも残らないように清掃を徹底します。五徳は、業務用なのでとても大きいですがガス会社の点検では「すでに 10 年近く経っているのにこんなに綺麗なガスの火は、なかなかないですね。」と言われます。日頃の清掃の成果と調理の方の使い方も良いのだと思います。
４、シルバー拭き…厨房内は冷蔵庫や盛り付けるための台などシルバー色の扉がたくさんあります。扉は、いろいろな人が触るので必ず「ブリーチを規定量薄めた液体で」拭きあげていきます。
まだまだ、ありますが日々決まったことを決まったように厨房に入る方々が努力し守ってくれていることで安全でおいしいお弁当を提供できます。

1998 年 10 月 9 日　第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 1 月 23 日発行　SSKU　増刊通巻第 6659 号

自立訓練（生活訓練）事業 ボランティア響会

通称 響（ひびき）

〒114-0032　北区中十条 1-2-18
北区障害者福祉センター4F
TEL 03-5963-6888

見学～スタジオ 753

12 月 4 日(水)、B 型事業所スタジオ 753 の見学に行きました。

昼食を早めに取って、王子駅へ。京浜東北線で移動。昼間は快速なので、田端で山手線に乗り換えて、最寄りの日暮里へ。駅から徒歩 10 分強で、七五三通りにあるスタジオ 753 に着きました。

スタジオ 753 は、庶務部、物販部、制作部に分かれ、自分のやりたい仕事を自分たちで決めるモチベーションの上がる方法を取っています。

設備は新しくデザイナーが設計しただけあって、きれいで働きやすそうでした。ちなみに工賃は“お察しください”とちょっと小さな数字なようでした。

ベーグルサンドの調理を見学させていただいた後、お礼を言って、帰途に着きました。最寄駅は、三河島駅ですが、我々にとっては、かえって遠回りになるので、日暮里駅まで戻り、流れ解散。私にとっては、ちょっと合わないかなと思いました。　(S.M)

プログラム　〇〇さんの時間

12 月 13 日(金)、午後の「〇〇さんの時間」というプログラムで、ぼくの担当で、自分クイズをやりました。クイズは三択形式で行い、問題や答えの作成、当日の進行までをスタッフの K さんに協力してもらいました。問題は、「ぼくの誕生日はいつでしょう」や「宝くじで 7 億円が当たったら何に使うでしょう」等の色々なものを出しました。

全体的に正解率は高く、ひびきに来て間もないぼくは、自分を知ってもらううえで、良い機会になったと思いました。　(J.M)

2020 年の抱負

・B 型事業所に入ってお金を稼ぐ。(S.M)

・2019 年は色々と忙しい年だったので、2020 年は「動く」と「休む」のバランスをとれるようにしたい。(J.M)

・私は常に家を留守にするのが恐いのですが、なるべく気にしないようにして、プログラムに参加できるようにしたいです。(A.E)

・減災の年でありますように…。新しい時代に対応できるようにする。(T.D)

・今年こそは、タバコをやめようと思う。(T)

・15kg増太ったので絶対にダイエット頑張ります！！スポーツを積極的にやりたいと思います！！(H.Y)

・響にできるだけたくさん通所したい。(M.T)

・病気や怪我をしない(R.A)

クリスマス会

12 月 20 日、恒例のクリスマス会が行われました。前々日の水曜日に、男性チームでお料理の食材の買い出し、女性チームで飾りつけをするところから始まりました。

当日は全員で、パスタ、ピザ、チキンナゲット、野菜スティック、スープを協力して作りました。お昼はそれをいただき、とてもおいしかったです。

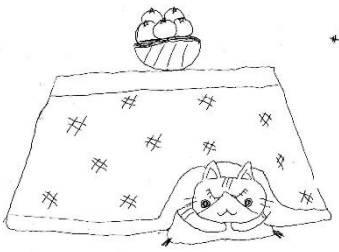
午後はショートケーキをいただきながら、ビンゴ大会を行いました。ビンゴで 1 番に抜けた人からプレゼント交換のクジを引いて、1 位、2 位、7 位、最下位には、W 賞があったりで、とても楽しいクリスマス会でした。私は納涼大会のビンゴで 1 位だったのですが、今回は最下位でした。

ただ最下位にも、W 賞という賞品がいただけて、それがとてもかわいいクリスマスのリースだったので、思いがけずうれしかったです。　(A.E)(R.A)

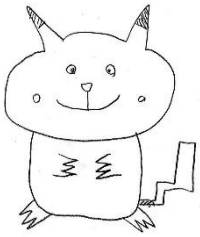
忘年会 2019

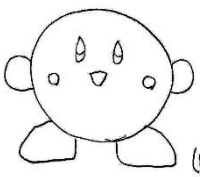
ハンドベル演奏、カラオケ、ビンゴゲームなど楽しいイベントが行われました。会場は赤羽会館 4 階。
飲食も行われました。時間は PM6:00～PM8:00 頃までででした。ヒップホップダンスなども行われ、スペシャルな 1 日でした。T さんはたくさんピザを食べていました。
(T と T)

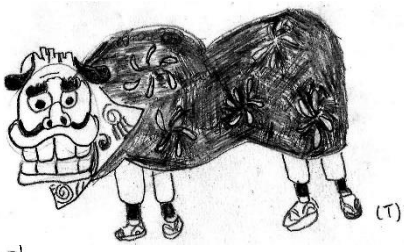
響の作品展


(H.Y)

(F)


(N.


(M.T)


(T)

1998 年 10 月 9 日 第三種郵便物認可 （毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 1 月 23 日発行 SSKU 増刊通巻第 6659 号

就労移行支援事業

リボーンプロジェクト

〒114-0032 東京都北区中十条 1－2－18
北区障害者福祉センター 4 F Tel：03-5963-6888

アンケート 3196 部入力・納品！

訓練生・ボランティア・職員の協力・共同で

今年も 10 月 11 日～12 月 9 日までの約 2 か月、北区教育委員会より小学生の『生活リズムおじゃま妖怪～退治日記～』アンケート入力のご依頼をいただきました。今回もリボーンだけでなく、ひびきや他事業の職員、そしてボランティアの方のご協力もいただき、わくわくかん全体で取り組みました。

今年は昨年と同じくらいの量ということで、1 週間ごとの目標数を定め、進捗をチェックしながら進めるようにしました。そして昨年と同様、訓練生にはアンケート入力、職員がチェックをしながら感想入力と役割分担をして取り組みました。ところが、アンケート入力は速いペースで進むものの、職員のチェックと入力が思うように進まず、アンケート入力に追いつかないという事態に。途中から訓練生にも感想入力を依頼し、職員の応援も増やしていただき、結果としては納品日前に完遂することができました！

最初は昨年と同じやり方でうまくいくだろうと考えていましたが、やはり昨年と今年とでは状況がやや違うということもあり、想定していたようには進みませんでした。それでも最終的には昨年より約 300 冊も多い部数を完了することができたのは、訓練生の皆さん、ボランティアの方々の頑張り、そして職員の協力のおかげです！大変な 2 か月間でしたが、協力しあうことの大切さを改めて実感しました。

受託業務を行っての感想

・とてもスムーズにできて良かったです。
・今年はあまり参加できませんでしたが、昨年に引き続き見直しをちゃんとするように心がけました。ミスはあまり無かったようでよかったです。
・たまに内容をかん違いしている子や字が読めなかったりして苦戦した。
・もういいです。
・アンケート入力のみ携わりました。記入がわかりづらく大変な部分もありましたが、小学生の生活に触れつつ楽しく作業が出来たと思います。入力自体は比較的スムーズに行うことができました。
・去年もやらせて頂きましたが、今回は少ないたずさわりでした。入力時、困ったものもありましたが、落ちついて臨めたと思います。

リボーンと響 合同で初詣

新年「体力づくり」に 3 ヵ所を周る

2020 年、リボーンプロジェクトの第 1 回目の研修は、昨年に引き続き初詣です。体力作りも兼ね、就職活動へのお願いもしなければ、というのもあり、リボーンでは欠かせない行事です。今年はボランティア響会との合同プログラムなので、リボーンからすると、昨年以上に賑やかな外出でした。

まずは王子神社にお参りをします。響の利用者さんの中には、細かい作法にも詳しい方がいて、杓子の使い方や、お賽銭の金額はいくらが良いのか、など改めて教えていただきました。お参りをしたあとは、破魔矢を購入し、昨年購入したものは納めました。
写真を王子神社の鳥居前で撮りました。

その後は、昨年と同じく王子稲荷神社にも足を運び、さらに皆の元気と時間に余裕があったため、名主の滝にも行ってみました。3か所周りましたが、リボーンプロジェクト的には体力づくりのため、というのもありますが、少し疲れた？かもしれません。

オフィスに戻った後は、訓練生のＳさんがリボーンプロジェクトを代表して、破魔矢の絵馬に「みんなの就活がうまくいきますように」という願いと、かわいいネズミのイラストを描いていただきました。破魔矢には「魔を破り幸運を射止める」という意味があります。オフィスに飾った破魔矢で、困難も打ち破り、皆で人生を切り開いていきたいですね。 (S.F)

1998 年 10 月 9 日 第三種郵便物認可　　（毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 11 月 23 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 6659 号

第５回わくわくかん家族懇談会のお知らせ

今年の家族懇談会は偶数月に開催しています。

開催日時： 2020 年２月 25 日（火）16:00～
場　　所：障害者福祉センター４階　自立訓練室
内　　容：就労（障害者の）について
講　　師：
個人面談：※（事前にお申し込みを）17:00～
連 絡 先：【TEL】03－5963－6888【FAX】03－3906－9997

最近の家族懇談会の活動外部講師を招いて充実

今年度の家族懇談会は偶数月に、わくわくかん新人スタッフＧを中心に活動しています。昨年度は毎月活動をしていましたが、今年度、回数を減らした分、外部の講師をお呼びするなどして以前にもまして充実した内容となっています。

わくわくかんの家族懇談会の特色は、ご希望があれば懇談会後半にスタッフとの個別面談ができることです。雑談でもなんでも結構ですので、ぜひこの機会をご利用いただきたいと願っています。なぜなら私たちスタッフもご家族からのお話は大変参考になり、メンバーさん（利用者さん）を支援する上での大きなヒントをいただける貴重な場となっているからです。

あるご家族からは、今までこのような家族の会に参加したことがなかった、今までは家族だけで悩んでいたので、皆さんのお話を聞けると勇気が出ます、というれしいお言葉をいただきました。

そのお言葉を聞いた直後、とある病院で、長期入院患者さんの地域移行を進めていくための勉強会に参加する機会がありました。病院関係者、行政、福祉、住居関連の企業、そしてピアカウンセラー（当事者の立場から精神障害者のサポートをしている方々）が集まる大変興味深い勉強会だったのですが、その中でも繰り返されたのが「ご本人に寄り添った支援」そして、「家族会」「親の会」といったキーワードでした。

私たち福祉スタッフがメンバーさんと共に様々な困難を考え進んでいくには、必ず信頼できるチームが必要になると思っています。その中に、当然のこととしてご家族の協力が必要になるときがあります。わくわくかん家族懇談会は、身近な疑問を一緒に学びながら、そしてたまにはお茶を飲みながら笑いあって、きさくで楽しい暖かい会でありたいと思い活動しています。わくわくかんメンバーさんのご家族の皆様、どうぞお気軽にお越しください。お待ちしております。　(K)

経堂の生活クラブ館でフォーラム
「リサイクル事業で地域に働く場をつくろう」

１月 18 日（土）には、経堂の生活クラブ館で「リサイクル事業で地域に働く場をつくろう」と題したフォーラムが開催されました。東京・神奈川・千葉等で、片付け・リサイクル事業を軸とした社会的企業が、生活クラブグループを中心として増えてきている中で、働きづらさを抱えた人々と共に働く仕事場を、片付け・リサイクル事業を通じて、地域の中でもっと増やしていくことができないかというのが、フォーラムの大きな趣旨でした。基調講演に、貧困に関する社会運動のキーパーソンとなっている稲葉剛さんをお呼びし、グループ交流では各地域のニーズが活発に議論される等、非常に前向きで実りある議論がなされたフォーラムでした。

１１月はたらっくす報告

１月のはたらっくすは 11 日（土）の 16～18 時にわくわくかんで行われ、３名の参加でした。「正月前後に２回、職員に失言しちゃって」というお話がありましたが、聞いてみたら全く失言ではなくてやる気を見せる良い提案で「大丈夫だよ」という対応がありました。次回のはたらっくすは２月８日（土）16～18 時にわくわくかんで行います。皆さんの参加をお待ちしています。

（H.M）

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　　（毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 1 月 23 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 6659 号

これは、4 コマ連載漫画「ホントの話」を描いている配食サービスで働くカータンさんが大事にしてきた切り抜きです。カータンさんの生き方を変えた日立の外塚さんが自分で考案した補助具。「10 数年がたってもこの記事は私を励ましてくれる」と投稿です。〈カットもカータンさんです〉

障害を持ってヒントを得るーアームサポーターを考案

左半身麻痺した外塚さんが作った首の痛みを和らげる工夫

◎家族の支えと母の死

「20 歳までの命」と言われながらも無事成人式を迎えることができた。両親の喜びは筆舌に尽くしがたいものだった。このとき家族全員でハワイ旅行に行ったことは一生忘れないという。病気の時も自殺未遂の時も、いつも支えてくれたのは家族だった。心ない人から冷たい視線を浴び、病気と懸命に闘い、疲れ果てて本当の自分が分らなくなったときいつも側にいてくれたのは母だったという。そういう両親のためにも手術は行うべきと思わざるを得なかった。

３度の手術で、てんかんの心配はなくなったものの左半身の麻痺が残った。覚悟のうえとはいえ社会復帰、自立生活となると厳しい現実が待ち受けていた。精肉店、雑貨の量販店などに職を見つけ、現場で健常者と同じように働くことを望み実行に移した。しかしそこにも理解を示してくれる人はいなかった。

『生きているからこそ苦しみも喜びもある。それが生きている証し』と自分に言い聞かせプラス思考で仕事をこなしていったが、この間に最期まで心配してくれた母親が亡くなった。自立を決意するようになったのはこの時期。間もなく障害者だけの会社が十王町にあることを新聞で知る。

◎「まけるものか」とオリジナルを開発

後遺症には言語障害と半身の麻痺があった。そのためのリハビリの入院生活が始まった。「負けるものか」と夢中でトレーニングに励んだ。左の手足に麻痺は残ったものの言葉は元に戻った。外塚さんは時々当時を思いだすことがある。初めてこの病院に来た時、同じ病気の人が真剣にしかも明るく訓練している姿を見て、勇気が出たことを。辛くなったとき、思いだしては訓練を乗り切った。同病の仲間たちと励ましあい努力を重ねた末、「なんだ歩けるし話せるじゃないか」と思うまで回復した。手術してつくづくよかったと思った。

その時、三角巾を首からつるして不自由になった左手を固定していたが、術後ということもあって首が痛くなり頭痛までしてどうにも我慢が出来ない。ベッドの上で外塚さんは「何かいい方法はないものか」と考え、首に圧力がかからないように分散することを思いついた。不自由な腕のひじと手首の２ヵ所に腕袋を当てれば、圧迫される場所も２ヵ所に分かれる。首にかかる圧力はなくなり痛い思いをして首につるすことはなくなり、１本のヒモ状になっているため１人でも装着可能だ。しかも腕は腹部にフィットしぶらぶらしない。当初、自分だけのオリジナルを使っていたが「どこで買い求めたのですか」と聞かれることがあり、もっと広めたいと考えてみた。

「多くの人が首の痛さに悩んでいる。少しでも役に立てればそれが私なりの恩返しになります」名前を『アームサポーター』と名付けた。１ 年中使用できるように素材をメッシュに求め、洗濯も丸洗いで簡単にできるように改良を重ねた。少しでも早い時期に店頭販売をさせたいがその段階には達していない。今は会社一丸となって PR につとめている。外塚さんは病院や福祉機器店を訪ねアンケートを取り、ユーザーや専門医師の意見を集める忙しい毎日を送る。ハードなスポーツや寝不足、過労が厳禁だった以前とは全く違う。障害を持つ身になったとしても同じ境遇にある仲間とともに悩みながらも屈託なく働ける現在に喜びを実感するという。

現場からの報告（ 30 ）

チャレンジすることがやりがいや成長に・・・

わくわくかんに来て１年半が経ちました。現場でも様々なプログラムを通して、私らしく皆様と接することに慣れてきたように感じます。そして、少しずつですが、新しい仕事にもチャレンジしております。新しいことをするには労力を費やします。しかし、その分やりがいや成長につながると思います。皆さまも初めてやることに抵抗を感じたり、苦手なこともたくさんあると思います。そして、それをおこなうことは大変な事です。

元号は平成から令和に変わり、今年はオリンピック、パラリンピックもありますね。令和には、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ、という意味が込められているそうです。私も皆さんと不自由さを一緒に考え、少しずつ一歩一歩明るい未来になるよう進めたらと思います。　（F・A）

1998 年 10 月 9 日 第三種郵便物認可　　（毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 11 月 23 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 6659 号

多摩で『共働』のネットワークをつくる

ワーカーズ・コレクティブのＢ型への挑戦

１月１３日（月・祝）に、「『共働』のネットワークをつくる～ハンディがあっても無くても共に働く社会をめざして～」と題したセミナーが、都立多摩図書館のセミナールームで開かれました。このセミナーは、生活クラブグループの中で、働きづらさを抱えた若者と共に働くことに関心を持って活動をしているワーカーズ・コレクティブなど数団体が、共同で結成した「ともっと事業体」が企画・主催をしたものです。

今回の大きなテーマは、就労継続支援Ｂ型事業所についてでした。もともと生活クラブグループのワーカーズは、年配の女性が中心になり、年齢・性別・階層などの点でメンバーが同質的なものが多いのですが、一方で働きづらさを抱えた若者たちとも、共に働いていこうというワーカーズも少なからずあります。働きづらさを抱えた若者たちが少しずつ増えていく中で、Ｂ型事業所を設立し、国からの給付金を受け制度のもとで事業を運営していこうと決断をした団体が、最近幾つか出てきました。東京・八王子の「コスモス」や千葉・野田の「紙ふうせん」等です。また、ワーカーズという形態を取らず、最初からＢ型事業所を設立した例もあります。東京・目白にできた高次脳機能障がい者を主な対象とする「フレッシュスタート」がそれです。

今回のセミナーでは、「コスモス」「紙ふうせん」「フレッシュスタート」の３団体から大変興味深い報告を聞くことができました。これまで障がい福祉とは無縁な活動をしてきた方々が、Ｂ型事業所を立ち上げて事業を運営することには、様々な悩み・困難がつきものです。ゼロから障がい者の登録数を確保したり、行政と折衝したり、障がい者との付き合い方に悩んだり、等々現場での奮闘ぶりが伺えるお話でした。一方で、ワーカーズとしての事業運営が行き詰まる中で、Ｂ型事業所として助成金を得つつ障がい者と共に働くことに、活路を見出したということはよく理解できるのですが、対等・平等を旨とするワーカーズの働き方と、利用者・支援者が明確に区分されたＢ型の枠組みとが、うまくマッチするのかは個人的に疑問を感じました。障がい者が利用者と位置づけられ低い工賃で働くことが、果たしてワーカーズが理念として掲げる「対等・平等に共に仕事を創りだす」ことと合致するのか。いずれにせよ、本当に色々と考えさせられるセミナーでした。　　（w）

東京都ソーシャルファーム条例

公布するも中身はこれからの異例

東京都は、12 月 25 日、「東京都ソーシャルファーム条例」を公布した。これは 12 月 3 日、提案者が小池百合子都知事で「都民の就労の支援に係る施策の推進とソーシャルファームの創設の促進に関する条例」といい、14 条からなっている。所轄は産業労働局。

人権文化を育てる会は 12 月 4 日、衆議院第一会館内で第 20 回シンポジウムでこの条例制定の動きを議論している。

その時この条例案を説明した弁護士で都民ファーストの会の岡本光樹都議会議員は、この法律はソーシャルファーム、ソーシャル・インクルージョンを入れたことに意義がある。SDGs やデーセントワークも和訳として使われている。付則にある「社会的企業」はソーシャルファームの日本語訳だと説明した。支援対象となるソーシャルファームを認証する基準は現時点では抽象的で、どういう事業に、どういう支援をするかはこれからと述べた。これは大阪の「ハートフル条例」や国立の「人権条例」のように、地域社会の社会的排除にあう当事者運動を反映したものではない。

この会合で炭谷茂ソーシャルファームジャパン理事長は①進まぬ障害者の社会参加、②住まいと仕事のない出所者、③高齢者の孤立化、④児童虐待、いじめ、引きこもり、LGBT への偏見、在日コリアンや外国人差別、部落差別、ホームレス等をあげ、ヨーロッパで 1 万社、韓国で 2 千社が「第 3 の働き方」としてソーシャル・インクルージョン（『社会的包摂）をすすめる社会的企業が起こっているとした。この貧困と社会的排除へのリアルな認識が東京都にはない。「必要な財政上の措置」として 22 億円が充てられると聞いていたので、公布＝施行から 2 か月近くたったので産業労働局に進捗状況を聞いてみた。具体的な中身は今後決めていくことになっているとのことだ。異例なことだと思う。オリンピック目当ての化粧直しとしかいいようがない。　〈k〉

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　　（毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 1 月 23 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 6659 号

相模原殺傷事件　美帆さんの遺族手記（部分）

「美帆は一生懸命生きた！」

大好きだった娘に会えなくなって 3 年が経ちました。時間が経つほどに会いたい思いは強くなるばかりです。会いたくて会いたくて仕方ありません。本当に笑顔が素敵でかわいくてしかたがない自慢の娘でした。アンパンマン、トーマス、ミッフィー、ピングー等のキャラクターが大好きでした。

音楽も好きでよく“いきものがかり”を聞いていました。特に“じょいふる”が好きでポッキーの CM で流れるとリビングの決まった場所でノリノリで踊っていたのが今でも目に浮かびます。電車が好きで電車の絵本を持ってきては指さして「名前を言って」という要求をしていました。よく指さしていたのは特急スペーシアと京浜東北線でした。ジブリのビデオを見るのも好きでした。特にお気に入りは魔女の宅急便と天空の城ラピュタ。他のビデオも並べて順番に見ていました。

自閉症の人は社会性がないといいますが、娘はきちんと外と家の区別をしていて、大きな音が苦手でしたが、学校ではお姉さん顔をしてがんばっていたようでした。外では大人のお姉さん風でしたが、家では甘ったれの末娘でした。

どうして今、名前を公表したかというと裁判の時に「甲さん」「乙さん」と呼ばれるのは嫌だったからです。話しを聞いた時にとても違和感を感じました。とても「甲さん」「乙さん」と呼ばれることは納得いきませんでした。ちゃんと美帆という名前があるのに。どこにだしても恥ずかしくない自慢の娘でした。家の娘は甲でも乙でもなく美帆です。

2020 年 1 月 8 日
19 才女性　美帆の母

相模原障害者施設殺傷事件における横浜地方裁判所の遺族・家族のための傍聴席の「目隠し遮蔽」に関する声明

津久井やまゆり園事件を考え続ける会

2016 年 7 月 26 日の事件当日の朝、理事長及び一部の家族たちの二度にわたる申し入れにより、津久井警察署並びに神奈川県警本部は、その申し入れに対し例外措置として犠牲者の「匿名」を容認した。その後横浜地検も、地裁に対し、暴力団被害者及び性暴力被害者の二次被害を防ぐための「匿名」措置を本件にも適用するよう求め、結果、地裁はそれを容認した。しかし、被害者の「二次被害」とは一体何であるか！？

「匿名」は決して許されるべきものではない。それは障害者に対する差別そのものである。犠牲者の人権と尊厳に深く関わる人間的な問題であるといえるからである。

この場合の「匿名」は、すなわち遺族のプライバシー、個人情報の保護とされているが、それはまぎれもなく身内に津久井やまゆり園の入居者がいたということ、身内に重度重複知的障害者がいたという事実に他ならない。それが家族や親類縁者にとっては「恥」、つまりそれを世間体からみて彼らには到底受忍できる話でもなかろう。結局、「匿名」は誰のための？

だが、世間体の「恥」とは何か。残念ながら、それが私たちにも問われている。ましてや、植松被告に賛同したネット炎上の輩ともなればなおさらであろう。

そのことは、遺族が犠牲者の、我が子の差別的加害者の立場にたつと同時に、遺族もまた世間の差別的被害者の立場に追いやられ、結果的に「匿名」を望んでしまったといえるだろう。世間の構成員たる私たち、私も少なからず、世間というものを介した時、遺族に対して差別的加害者の立場に否応なく立たされる結果となる。

さはさりながら、今回の地裁の対応はさすがに看過できない。異様な風景である。法の正義と人権を守るべき裁判所が、障害者の人権と尊厳よりも、むしろ遺族のプライバシー、個人情報、すなわち遺族の「恥」を守ること、それに手を貸し、法の正義と人権のあるべき姿を放棄したと断ぜざるをえない。これは障害者にとって耐え難い。遺族・家族を守るための傍聴席の「目隠し遮蔽」は、すべての障害者に向かって無慈悲にもこう語る。衆議院議長に宛てた植松被告の「手紙」に「障害者は不幸をつくることしかできません。」とあるように、

すなわち、障害者は家族の不幸をつくることしかできません、と。

よって、ここに、津久井やまゆり園事件を考え続ける会として「批判声明」を発する。

2020 年 1 月 11 日

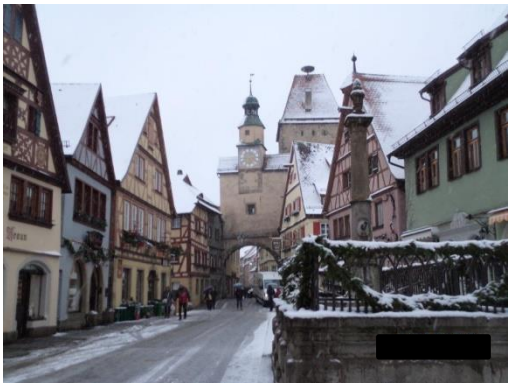
【「声明」を読んでホッとした！】

このような声明文が出たのは、社会が少しはまともなのだなと—上から目線のもの言いではありますが—ホッとしました。新聞で目隠しのことを知って、とても違和感を覚えたからです。被害者の匿名報道についてもそうでした。
障害者当事者がこのような問題を突っついて声をあげない限り、それが当たり前になってまかり通ってしまいそうで、怖いことと思います。　（K．C）

1998 年 10 月 9 日 第三種郵便物認可 （毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 1 月 23 日発行 SSKU 増刊通巻第 6659 号

念願のドイツ旅行〈上〉

お気に入りのローテンブルグの街並です



約一年前、私はリボーンを卒業し就職しました。現在は西新宿の某派遣会社でアルバイトとして働いています。働き始めてもうすぐ一年になります。私は一昨年「リボン便り」3 月号に、働きお金を稼ぎ、そのお金で海外旅行に行くことが、自分にとって輝かしい人生だと書いて就労しました。

そしてついに、2019 年の 12 月にその夢が実現しました。私は会社から頂いた有給休暇を使い、4 泊 6 日のドイツ旅行に行くことが出来たのです。目的はクリスマスマーケット巡りでした。以前ドイツ旅行をした時はクリスマスが終わったシーズンオフで、まるでお伽の国に紛れ込んだ錯覚を起こし、ドイツの虜になり再びこの国にクリスマスシーズンに来ることを密かに誓いました。それが約 8 年前のことでした。本当は一度目に行った翌年に旅行する気でいましたが、当時働いていた会社でうまくいかず、体調を崩し、予約をキャンセルしました。そこからは大変で会社を辞めなければいけなくなったり、働かない時期があったのでお金がなく、ドイツ旅行どころか仕事に就けないことで、焦りや不安と戦う日々を送っていました。その理由の一つに年齢という壁がありました。

私は現在 36 歳です。周りの友達はみんな結婚し子どもがいます。障害も抱えていないし、一般的に普通と呼ばれる生活を送っています。私はあまり良い家庭環境で育たなかったので結婚に対し、ものすごくこだわりがあるわけではありませんがさすがに、世の中で働いている男性と渡り合うためには仕事をしお金を手にすることが絶対不可欠だと思いました。また更にドイツへの執着が私を前へ進ませました。私の場合はバリバリ働き、海外旅行をすることが自分の人生を輝かせると知っていたからです。

なぜ海外旅行が私の生きる糧になっているかと言うと、私は 18 歳まで狭い世界で生きてきました。家が異常に厳しくアルバイトもさせてもらえず、理不尽なことが多い環境で育ちました。ただ好奇心が旺盛で行動派の性格は変わらずやりたいことが沢山ありました。私は病気になりましたがアメリカに初めて海外旅行をした時に、自分が如何に狭い世界で生きてきたかを思い知り、ショックを受けました。目に飛び込んでくる物が見たことない物ばかりで、私は海外旅行の虜になってしまったのです。それが 22 歳の時でした。親の束縛から逃れ、やりたい、行きたいと思ったことは何でもやりました。もちろん自分のお金でです。私は病気の症状と戦い転職を繰り返しましたが、現在ではリボーンの職員、職場では、会社の上司や先輩、後輩、また病院の先生に支えられ、有給休暇でドイツに行くことを目標に、頑張りました。時には、会社に行きたくないと思うこともありましたが、ドイツ旅行のために踏ん張りました。ここで有給休暇を使っては旅行に行けなくなってしまう、また休んだり遅刻や早退を繰り返しては、周りの人が旅行のために長期で休むことに難色を示すと思い、朝はゆとりを持って出勤し、「S さんは安定して朝来てる」と言われるようになりました。そして、2019 年 12 月 12 日に日本を無事に飛び立つことが出来たのです。今回は友達との二人旅でした。

（つづく）（S．A）

就労支援センター北わくわくかん

登録者（2020 年 1 月末）899 名
就職者　1 名（事務）

先月　ご協力いただいた皆様

東京都労働局・東京都精神保健福祉民間団体協議会・北区障害福祉課・北区健康推進部・北区社会福祉協議会・北区障害者福祉センター・ハローワーク王子・池袋・飯田橋・上野・東京障害者職業センター・東京しごと財団・東京都立精神保健福祉センター・東京都立王子特別支援学校・北区社会福祉協議会・北区教育委員会・津久井やまゆり園事件を考え続ける会・NPO 法人障害者の職場参加をすすめる会・企業組合ワーカーズコレクティブキャリー・大阪障害者労働センター・あしたや共働企画・特定非営利活動法人のらんど・ＮＰＯ法人ソーシャル・クリエイターズ・反貧困ネットワーク・企業組合あうん・共働事業所よって屋・シャロームの家・オレンジコープ・等、お世話になりました。

グループホームわくわくかん

入院中の I さんが年明けに 1 泊 2 日の体験をされました。とてもお部屋を気に入って是非利用したいとのお話でしたが、元々お食事を摂る事が苦手な I さんは、体験中もお食事に関しては難しいご様子でした。退院のお手伝いをしている北区役所の S 職員さんが「ＧＨは生活訓練の場所で、休息の場じゃないのよ！食べなきゃ人間死ぬのよ」と愛の一喝！直接入居に繋がりませんでしたが、I さんにとって生活する事がイメージできる貴重な体験になったと思います。

▼編集後記▼

スウェーデンの環境活動家・グレタ・トゥンベリさんは、国連気候行動サミットやダボス会議で大人たちの環境対策ネグレクトを痛烈に批判、それは 10 代の若い世代の環境を守る世界的な大きなうねりとして広がっている。トランプに続いてニューシン米財務長官は「まず大学で経済を勉強してきてから、我々に説明してほしいものだ」と大人風を吹かしている。グレタさんは自らを発達障害の一種、アスペルガー症候群であることを隠さない。グレタさんは会員制交流サイト（SNS）で「アスペルガーは病気ではなく才能」と表現。「アスペルガーだったからこそ、ここまでできた」と打ち明けている。

発行所　郵便番号 157-0073　東京都世田谷区砧 6-26-21　特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会　定価 100 円（会費に含む）